

第 76 回広島病理集談会

日 時：令和 6 年 3 月 9 日（土）午後 1 時 30 分より

会 場：広島大学 医学部凌雲棟 R304 号室

世話人：広島大学大学院医系科学研究科
病理学研究室 武島 幸男

副世話人：広島大学病院
病理診断科 有廣 光司

実施要領

1. 会場について

広島大学 医学部凌雲棟 R304 講義室(次頁をご覧ください)

2. 演説について

一般演題は発表 8 分, 討論 7 分, 剖検例は発表 25 分, 討論 5 分とします。

* 演者の先生は, 13 時 15 分までに受付をお済ませ下さい。

* 液晶プロジェクター1台を準備します。

USB メモリーまたは SD カードに, PowerPoint 形式でファイルを保存して,
受付までご持参ください。CD-ROM は使用できません。

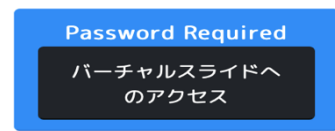
Windows OS, Mac OS, いずれも対応可ですが, Mac OS で作成したファイルは,
事前に Windows OS 上での動作確認をお願いいたします。

3. バーチャルスライドについて

今回は標本を配布せずバーチャルスライドのみです。下記のサイトより閲覧してください。

Site : <http://pathology.hiroshima-u.ac.jp/shudankai.html>

Username: *pathology* Password: *Shudanka1*



4. スライドカンファレンスの診断投票について

診断投票用紙に診断をご記入の上, 3 月 6 日(水)までに下記宛先まで E-mail または FAX
にてご提出下さい。(上記サイトで診断投票用紙をダウンロードできます)

宛先: 広島大学大学院医系科学研究科 病理学

アマティア V.J.

FAX: 082-257-5154

E-mail: amatya@hiroshima-u.ac.jp

5. 集談会の参加費は 500 円です。

6. 提出抄録について:

200 字以内の抄録を当日, 会場受付にご提出下さい。

後日, E-mail にてお送り下さっても結構です。(3 月 15 日必着)

(この抄録は, “広島医学”に掲載される予定です。)

交通アクセス

JR 広島駅から

広島駅(中央出口)

↓ 徒歩3分

広島駅南口(Bホーム10番のりば)

↓ 路線バス

↓ 広電バス, 広島バス, 広交バス

↓ [\(302・312・322・332・342号線\)](#)

↓ 約15分・220円

「大学病院前」下車

JR 横川駅から

横川駅(南口)

↓ 徒歩3分

バス乗り場(2番のりば)

↓ 路線バス

↓ 広島バス([23・23-1号線](#))

↓ 大学病院行き(紙屋町・八丁堀経由)

↓ 約40分・220円

「大学病院前(終点)」下車

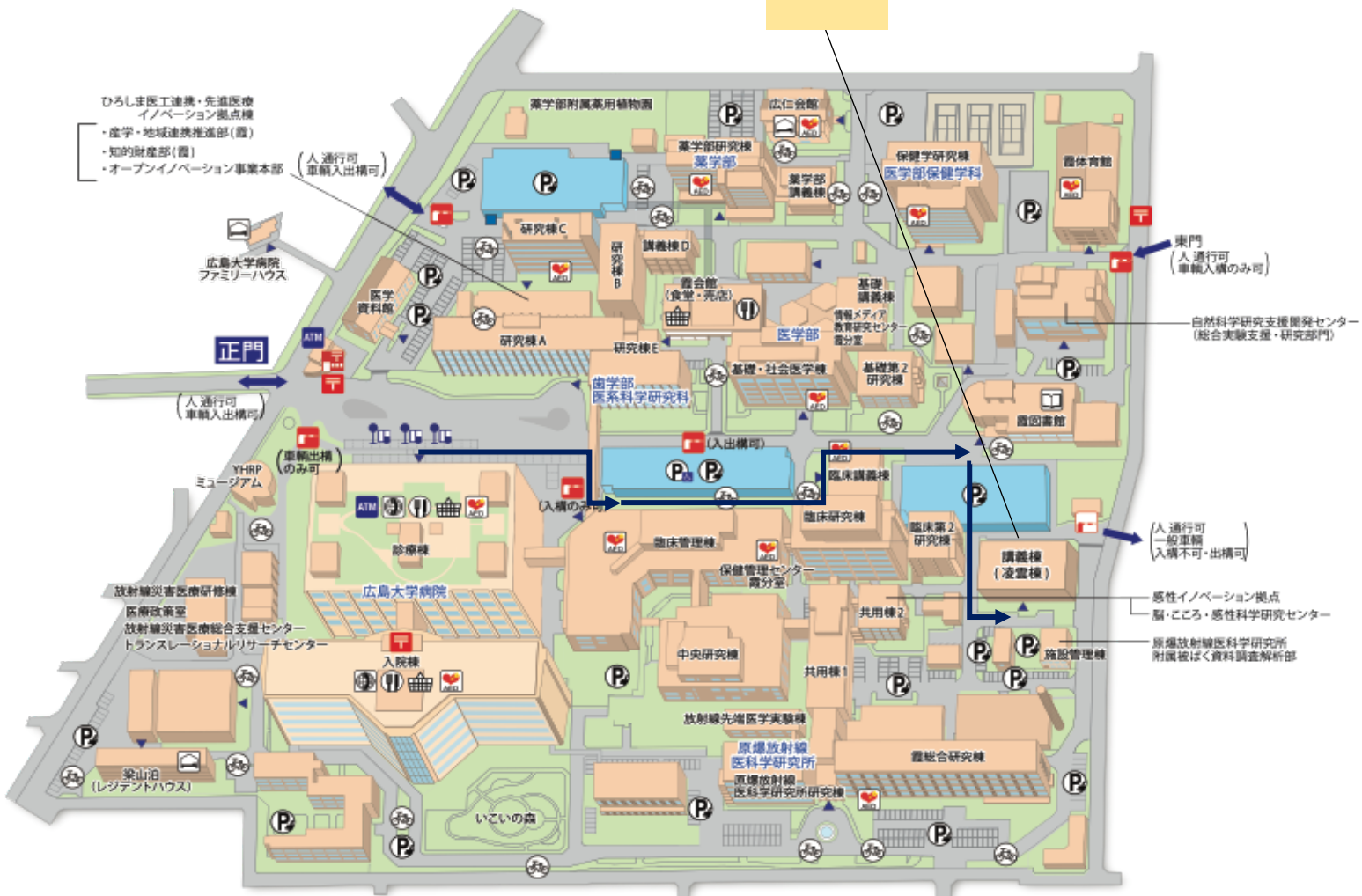
【駐車場の利用について】

駐車補助券を交付いたしますので、受付で駐車券をご提示ください。

立体駐車場に設置の事前精算機で駐車料金をお支払いください。

【広島大学霞キャンパス・大学病院マップ】

凌雲棟



プログラム

13:30-14:30 スライドカンファレンス

座長：在津潤一 先生

(JA 広島総合病院病院 病理診断科)

(13:30-14:00)

- | | | | |
|------|-------|-------------------------|----------|
| S857 | 皮膚病変 | 県立広島病院
臨床研究検査科・病理診断科 | 服部 結 ほか |
| S858 | 右眼窩腫瘍 | 広島大学大学院医系科学研究科
病理学 | 青江 耕平 ほか |

座長：山本利枝 先生

(呉医療センター・中国がんセンター 病理診断科)

(14:00-14:30)

- | | | | |
|------|--------|------------------------------|----------|
| S859 | 前縦隔腫瘍 | 広島市立北部医療センター安佐市民
病院 病理診断科 | 神原 貴大 ほか |
| S860 | 肺動脈内腫瘍 | 広島大学大学院医系科学研究科
病理学 | 中桐 徹也 ほか |

14:30-14:40 休憩

14:40-15:10 講演

座長：金子真弓 先生

(広島市立北部医療センター安佐市民病院 病理診断科)

(14:40-15:10)

リンパ節，骨髄検体の病理診断のTips

広島赤十字・原爆病院 病理診断科

藤原 恵

【スライドカンファレンス】

S857 皮膚病変 (バーチャルスライドのみ)

県立広島病院 臨床研究検査科・病理診断科

服部 結, 森 馨一, 西阪 隆

症例は 30 歳代, 男性。

既往歴にメニエル病があり, メニエル病の薬を内服している。その他は特記事項なし。肛門周囲に複数の隆起性病変があり, 近医より紹介受診した。疼痛は認められなかった。ボーエン様丘疹症が疑われ, 病変部からパンチ生検が行われた。

S858 右眼窩腫瘍 (バーチャルスライドのみ)

広島大学大学院医系科学研究科 病理学研究室

青江耕平, 武島幸男

症例は 80 歳代, 女性。

約 2 年前より眼球突出を自覚するようになった。MRI 検査にて右眼窩部に腫瘍を指摘されたが, 年齢を考慮して経過観察された。しかし, 右眼の眼球突出は改善無く, 生検術を施行されたのち, 腫瘍全体(最大径約 4 cm)の摘出術が行われた。供覧する標本は, 手術時に採取された腫瘍組織である。



S859 前縦隔腫瘍 (バーチャルスライドのみ)

広島市立北部医療センター安佐市民病院 病理診断科¹⁾, 呼吸器外科²⁾
神原貴大¹⁾, 木村修士¹⁾, 松浦博夫¹⁾, 花木英明²⁾, 甲斐佑一郎²⁾, 金子真弓¹⁾

症例は70歳代, 男性。

定期検診で縦隔腫瘍を指摘され, 当院を紹介受診した。CT 検査では前縦隔の石灰化を伴う3.5 cm大の分葉状の腫瘍の他, 両肺に10 mm大までの境界明瞭な多発結節を認めた。PET-CT 検査では前縦隔腫瘍のSUV max 8.5の集積の他, 肺の多発結節と左腸骨に淡い集積を認め, 前縦隔腫瘍および同腫瘍の多発転移が疑われた。前縦隔腫瘍に対して腫瘍切除術と, 左肺上葉の結節に対して肺部分切除が行われた。標本は前縦隔腫瘍の代表的な断面。

問題点: 組織診断

S860 肺動脈内腫瘍 (バーチャルスライドのみ)

広島大学大学院医系科学研究科 病理学研究室
中桐徹也, 櫛谷 桂, 武島幸男

症例は60代, 女性。

喫煙歴なし。術前7ヶ月前より息切れがあった。直腸癌・子宮内膜癌術後フォローのため, 術前6ヶ月前に撮像された胸部CT 検査で肺動脈血栓を指摘された。抗凝固薬を投与されたが, 術前3ヶ月前より息切れが増悪傾向を示した。術前1ヶ月前に撮像された造影CT では両側肺動脈～肺動脈主幹部にかけて造影欠損領域を認め, PET-CT では同部にSUVmax 9.1の集積を認めた。肺動脈原発腫瘍の疑いで広島大学病院へ転院となり, 左肺全摘および肺動脈合併切除術を施行された。肉眼的には, 一部に出血を伴う灰白色の充実性腫瘍性病変が肺動脈内に充満していた。腫瘍は左肺動脈に基部を持ち, 右肺動脈の内腔まで進展していた。

講演 「リンパ節，骨髄検体の病理診断の Tips」

広島赤十字・原爆病院 病理診断科

藤原 恵

免疫組織化学染色の発達により，悪性リンパ腫や骨髄病変の診断は客観性が高まった。悪性リンパ腫では，非腫瘍性病変との鑑別と免疫組織化学染色の関わりについて，follicular lymphoma, Hodgkin lymphoma, MALToma などについて述べる。

骨髄病変には病理診断が必ずしも必要ではないが，染色体や遺伝子を用いた診断に近付けることが出来る様になった。急性白血病，骨髄増殖性腫瘍(MPN)，骨髄異形成症候群(MDS)などと，免疫組織化学染色の関わりについて述べる予定である。